

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準委員会の概要（第249回～第251回）
2. IASB、IFRS 解釈指針委員会に対するASBJのコメント（2012年8月1日～2012年9月30日）
3. FASB との第13回定期協議を東京で開催
4. ASBJ オープン・セミナー2012年度 夏季を開催
5. 開示実務新任者向けFASFセミナー「有価証券報告書及び四半期報告書作成上の留意点の活用方法」を開催
6. お知らせ
 - 1) 刊行物のご案内
 - 2) ASBJ Web セミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準委員会の概要（第249回～第251回）

1) 第249回（2012年8月7日開催）

- a. 実務対応専門委員会の再設置について
- b. 収益認識専門委員会における検討状況
- c. IFRS 財団デュー・プロセス・ハンドブック公開草案へのコメント対応について

- d. IASB 公開草案「IFRS の年次改善」へのコメント対応について

a. 企業会計基準委員会では、ここ数年コンバージェンス作業を優先してきたことから、実務対応レベルの問題について必ずしも十分な対応が図られていませんでした。

こうした分野への対応強化の必要から、実務対応専門委員会を再設置することとされました。

b. IASB/FASB の審議状況のうち、暫定合意されたものを中心に説明が行われました。

このうち、「履行義務の充足」については、履行義務が一定の期間にわたり充足されるかどうかを決定するための要件の明確化に係る暫定合意が行われましたが、公開草案からの大きな変更は見られませんでした。

これについては、我が国市場関係者の懸念について十分な改善が図られていないため、引き続きの対応が必要と考えられています。

c. 2012年5月にIFRS財団から公表された「IFRS 財団デュー・プロセス・ハンドブック」案へのコメント対応についての検討が行われました。

d. 2012年5月にIASBから公表された年次改善に係る公開草案へのコメント対応についての検討が行われました。

2) 第250回（2012年8月23日開催）

- a. 無形資産に係る会計基準の検討（参考人招致）
- b. 企業結合（ステップ2）の検討
- c. IFRS 財団デュー・プロセス・ハンドブック公開草案へのコメント対応等について

a. 無形資産の会計基準作成に関して市場関係者のニーズを確認するため参考人（作成者、利用者、監査人）の意見聴取が行われました。

各論点につき、それぞれの立場からの意見が示されましたが、「包括的な会計基準を作成すること」に対しては、すべての参考人が作成すべきとの考え方で一致していました。

b. 前回の検討で、公開草案の公表に向けて詳細な検討を行っていく論点として「支配の喪失」を対象とすべきとの意見が多かったことを受けて、同論点を公開草案の対象とする場合の対応についての検討が行われました。

c. IFRS 財団意見募集「デュー・プロセス・ハンドブック」、IASB 公開草案「IFRS の年次改善」及びIFRS 解釈指針委員会公開草案「公的機関が課す賦課金のIAS37の取扱い」へのコメントの検討が行われました。

3) 第251回（2012年9月5日開催）

- a. 企業結合（ステップ2）の検討
- b. 無形資産に係る会計基準の検討
- c. IFRS 解釈指針委員会公開草案へのコメント対応
- d. 金融商品専門委員会の検討状況

a. 公開草案の公表に向けて詳細な検討を行うこととされた項目のうち、「取得関連費用」及び「暫定的な会計処理」についての文案の検討が行われました。

「取得関連費用」については、企業結合において取得に要した支出のどこまでを取得原価の範囲とするかといった実務上の問題があること及び国際的な会計基準に基づく財務情報との比較可能性を改善することを理由に発生時の費用として処理する方向で検討されています。

「暫定的な会計処理」（企業結合年度の翌年度に暫定的な会計処理の確定又は見直しにより取得原価の配分額を修正した場合には、結合年度に修正が行われた場合の損益の影響額を翌年度に特別損益として計上する処理）については、暫定的な会計処理の確定又は見直しにより取得原価の配分額を見直した場合には、企業結合日におけるのれんの額が置き換えられたものとして会計処理を行う方向で検討されています。

- b. 第250回委員会での参考人意見で無形資産に関する包括的な会計基準を設けるべきとの意見が多かったことから、まずは、「企業結合において識別する無形資産の取扱い」及び「個別に取得した仕掛研究開発」について、実務面での対応のResearchを含め、さらに掘り下げて検討していくとの今後の進め方に関する検討が行われました。

事務局の示した方向性については同意されたものの、包括的な基準のイメージがないまま検討を進めることにより全体としての不整合が生じないかといった懸念も示されています。

- c. IFRIC 解釈指針案「非支配持分に係る売建プット・オプション」に対するコメント検討が行われました。
- d. IASB 及び FASB における検討状況（減損及び分類・測定）の説明が行われました。
- 減損については、これまで、金融資産をバケット1~3の3つのカテゴリーに分類

し、それぞれの区分に応じた予想損失を見積もる手法の検討が進められてきました。

FASB では、減損に係る市場関係者とのアウトリーチを行いました。アウトリーチでの大半の意見は、原則のより一層の明確化と予想損失モデル運用可能性に関する広範な懸念を示すものでした。

これらの意見を受け、FASB では代替的な予想損失モデルの検討が行われていて、複数の測定目的を持つ3バケットモデルではなく単一の測定目的を有したモデルを検討し、いくつかの暫定決定がおこなわれています。

2. IASB、IFRS 解釈指針委員会に対する ASBJ のコメント（2012年8月1日～2012年9月30日）

- 1) [IFRS 財団 コメント募集「IASB 及び IFRS 解釈指針委員会 デュー・プロセス・ハンドブック」に対するコメント](#)を提出（2012年9月5日）
- 2) [IASB 公開草案「IFRS の年次改善 2010-2012年サイクル」に対するコメント](#)を提出（2012年9月5日）
- 3) [IFRIC 解釈指針案 DI/2012/1「特定の市場で事業を行う企業に対して公的機関が課す賦課金」に対するコメント](#)を提出（2012年9月5日）
- 4) [IFRIC 解釈指針案「非支配持分に係る売建プット・オプション」に対するコメント](#)を提出（2012年9月28日）

3. FASBとの第13回定期協議を東京で開催

ASBJと米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、2012年9月13日と9月14日に、東京で第13回定期協議を開催しました。

本会議において、ASBJとFASBは、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、各国会計基準設定主体等の関係者間の継続的な協調関係のあり方について意見交換しました。

ASBJとFASBはまた、FASBとIASBが現在審議を行っている以下のプロジェクトの状況について議論いたしました。

- (1) 金融商品：分類及び測定／減損 (FASBとIASBの直近の暫定的な決定等)
 - (2) 収益認識 (再審議の状況等)
 - (3) リース (2012年第4四半期に公表予定の再公開草案に向けた検討状況等)
- さらにASBJとFASBは、FASBが公表した意見募集「開示フレームワーク」及びいくつかの研究・テーマについて議論いたしました。

ASBJとFASBは、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくこととしています。

4. ASBJオープン・セミナー2012年度 夏季を開催

ASBJ/FASFでは、国際的な会計の動きを迅速にフォローできるASBJならではの最新情報を提供することで、FASF会員へのサービスの向上を図るため、2010年度より“ASBJオープン・セミナー”を開催しています。

全国の主要都市で開催された今回のセミナーでは、金融庁からはIFRSの検討に関する我が国の動向等の報告、ASBJからは国内会計基準開発の状況に加え、IASBの個別プロジェクトの動向等、会計基準を巡る国際動向についての報告がなされました。

また、これに加えて、5月17日に公表された退職給付に関する会計基準及び同適用指針の改正に関する解説を行うなど、時宜に応じた話題を提供し、全国5カ所の会場では、合計1,100名以上の多数の聴講者が来場されています。

なお、当セミナーは、全国証券取引所の協力を得ながら開催しています。



開催日	開催地	会場
8月24日	大阪	大阪国際会議場
8月27日	名古屋	ダイテックサカエ
8月29日	福岡	天神ビル
8月30日	東京	メルパルクホール
8月31日	札幌	札幌証券取引所

5. 開示実務新任者向け F A S F セミナー「有価証券報告書及び四半期報告書作成上の留意点の活用方法」を開催

FASF では、従来から行っている有価証券報告書等の作成要領の改正ポイントに関するセミナーに加えて、開示実務新任者向けの解説セミナーを昨年の 2011 年 12 月に初めて実施し、参加者の皆様から大変ご好評いただきました。このため、今年も、当セミナーを東京、大阪で開催いたしました。

当セミナーは、FASF 発行の「有価証券報告書の作成要領」及び「四半期報告書の作成要領」を使いこなすために必要な知識の習得を目的とし、企業内容等の開示府令や財務諸表等規則等について体系から説明を行う「開示の基礎」に特化し、開示実務に携わって1年目～2年目の方を主な対象者としました。

会員限定の新任者向けというセミナーであるにもかかわらず、2 日間で約 500 名の方にご参加いただき、盛況の内に終了いたしました。



開催日	開催地	会場
9月21日	東京	ベルサール半蔵門
9月24日	大阪	大阪国際会議場

6. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 38 号
(2012 年 9 月 14 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集：座談会「多様な国際活動において活躍するインターナショナル・アカウンタントに聞く」
- ✓ Accounting SQUARE：“中小企業の成長に果たす「会計」の役割”…岡村正 日本商工会議所 会頭
- ✓ CFO Letter “当社グループにおける IFRS の意義”…高尾光俊 川崎重工業（株）代表取締役副社長
- ✓ Chairman’s Voice：“ASBJ における最近の国内会計基準の開発状況”…西川郁生 ASBJ 委員長

※ご購入は[こちら](#)。

※FASF 会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ（会員専用サイト）よりご覧になることができます](#)。どうぞご利用ください。

2) ASBJ Web セミナーのご案内

ASBJ/FASF では、FASF 会員の皆様に ASBJ の開発する会計基準や ASBJ/FASF の活動をより分かりやすく効率的に理解していただくために、Web セミナーをホームページ（会員専用サイト）で提供しています。

最近では、ASBJ オープン・セミナー 2012 年度 夏季（2012 年 8 月 30 日、メルパルクホールにて収録）を 2013 年 1 月 31 日までの期間限定で掲載していますので、会員の皆様はどうぞご利用ください。

“ASBJ Newsletter”（第 29 号）

2012 年 10 月 19 日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町 2-2-2

富国生命ビル 20 階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712